

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	IT活用推進事業			事業コード	0067
担当課等	所属名	総務部 情報企画室	担当係名		
	課長名	総務部 情報企画室	担当者名	馬場 久美子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード 3	施策	快適な情報ネットワークの実現	コード 4
	基本事業	情報通信機能の整備	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 02款01項01目 e-city構築整備事業(012-05)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 14年度～)		
事務事業の概要	もりおか地域SNSを運営し、市民がインターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供する。また、市民(特にITに触れる機会の少ない市民)がインターネットを体験し、市ホームページから市政情報を閲覧できるようにするため、公共施設にインターネット端末を設置する。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
パソコン、インターネットの一般家庭への普及率が低く、インターネットを利用したいという市民からの要望があった。また、デジタルディバイド(情報弱者)を少しでも解消する必要があった。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
公共施設へのインターネット端末設置事業は、パソコン、ブロードバンド環境の一般家庭への普及率が高まったことから、設置箇所の一部において利用者数が減少傾向にある。しかしながら、恒常的な利用者も存在し、今後設置箇所・利用時間の適正化について検討していく必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	・市民。但し、もりおか地域SNSでは、対象年齢を18歳以上とし、市外在住の方も対象としている。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) もりおか地域SNS及びインターネット端末の運用管理を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) もりおか地域SNSの利用促進を図るとともに、インターネット端末の運用管理を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. インターネット端末の利用者数	単位	人
				B. もりおか地域SNSの会員数	単位	人
				C. もりおか地域SNSのコミュニティ数	単位	団体
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民が、インターネット上で気軽に意見交換・情報交換することができる。また、市民(特にITに触れる機会の少ない市民)が、インターネットを体験することができる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. インターネットを利用している人の割合(市民意識調査を基にした推定値) 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	%
				B. もりおか地域SNSのアクセス数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	回
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	情報が自由に発信される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	携帯電話普及率 市民アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合(単位:%) インターネット普及率 市民アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の数	人	297592	297267	298000	298148	298500	299000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	インターネット端末の利用者数	人	7761	6474	7000	4136	5000	5500	年度
活動 指標B	もりおか地域SNSの会員数	人	759	941	1150	1167	1500	2000	年度
活動 指標C	もりおか地域SNSのコミュニティ数	団体	194	239	300	277	320	370	年度
成果 指標A	インターネットを利用している人の割合(市民意識調査を基にした推定値)	%	56.6	58.7	59	61.6	63	64	年度
成果 指標B	もりおか地域SNSのアクセス数	回	18102730	13159499	18000000	16886089	17500000	18500000	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	6,327	10,217	6,229	6,187	2,201	2,201	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	6,327	6,217	6,229	6,187	2,201	2,201	*****
	⑧その他	千円		4,000					*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	6,327	10,217	6,229	6,187	2,201	2,201	*****
	延べ業務時間数	時間	1,200	1,500	1,200	1,200	1,200	1,200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,800	6,000	4,800	4,800	4,800	4,800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,127	16,217	11,029	10,987	7,001	7,001	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: インターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供することなどにより、結果に繋げることが可能である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 国の「e-Japan戦略」を背景にした盛岡市の「情報化基本計画」のアクションプラン(行動計画)の一つであることから市がやるべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: もりおか地域SNSでは対象年齢を18歳以上としているが、責任能力の観点から適切である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市民がITを活用できる機会を提供するものであり、現状の意図で妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: もりおか地域SNSを周知し利用促進を図ることで、成果が向上する可能性がある。また、設置しているインターネット端末のうち一部利用頻度が低いことから、設置箇所・利用時間の適正化の検討、並びに利用促進のための周知活動を行い、費用対効果を高めることが可能である。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: もりおか地域SNSの廃止は、ネットワーク特性を活かした地域活性化を阻害することになる。また、設置しているインターネット端末を廃止することは、デジタルディバイド(情報弱者)解消を妨げることになる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: ランニングコスト(必要経費)のみで運用しているため削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: その内容: もりおか地域SNSの運営をNPO団体等外部に委託することができれば、人件費の削減が可能となる。また、インターネット端末の設置は、ランニングコスト(必要経費)のみで運用しているため削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: もりおか地域SNSでは対象年齢を18歳以上としているが、責任能力の観点から適切である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 情報通信の普及啓蒙を目的とした市民サービスであることから、受益者負担は考えられない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 設置しているインターネット端末のうち一部利用頻度が低いことから、設置箇所・利用時間の適正化の検討、並びに利用促進のための周知活動を行い、費用対効果を高める。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 設置箇所や利用時間の削減は、市民が情報通信技術に触れる機会を減少させることに繋がるため、施設の担当職員等と協議を重ね、十分に検討する必要がある。また、近隣住民への周知、運用管理体制の充実等により利用者を増加させることができれば、費用対効果が高まる。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>インターネット端末は、利用者の少ない設置施設については、その必要性について再検討を要する。 もりおか地域SNSについては、先の東日本大震災の際は、被災者の子供たちのために学用品を支援する「学び応援プロジェクト〜20年後の未来のために〜」というコミュニティが会員により立ち上げられ、市民のみならず他の地域SNSにも支援の輪が広がり、成果をあげた。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>インターネット公共端末については、インターネットの体験を通じてデジタルデバイドの解消につながるとともに、今後、電子申請・届出等の端末として活用できることも考えられることから継続していくものとするが、設置場所について検討していく。 また、もりおか地域SNSについては、「広報もりおか」などにより一層の周知を図る。</p>						